



平成22年10月28日

第63回「都民の消防官」表彰について

平成22年10月6日（水）、第63回「都民の消防官」選考委員会が東京消防庁本部庁舎で開催され、厳正な審査の結果、下記の5人の受章者が決定しました。

「都民の消防官」表彰は、産経新聞社の主催により消防の第一線で活躍している職員を対象に、都民の生命、身体、財産を火災等から守るため、長年にわたり職務に精励し、その功労が特に顕著な消防官を選出し、「都民の信頼と感謝を集める人」として広く都民に紹介するため昭和30年に制定されたものです。これまで286人が受章しています。

記

1 受章者（別紙参照）

- (1) 消防活動功労
中野消防署 消防司令補 中村 和夫（なかむら かずお）
- (2) 救急活動功労
本田消防署 消防士長 関根 正芳（せきね まさよし）
- (3) 予防業務功労
神田消防署 消防司令補 渡邊 政好（わたなべ まさよし）
- (4) 機関運用功労
金町消防署 消防士長 窪田 清（くぼた きよし）
- (5) 広報業務功労
尾久消防署 消防司令補 本山 秀光（もとやま ひでみつ）

2 表彰式

- (1) 日時
平成22年11月1日（月） 10時30分
- (2) 場所
千代田区大手町一丁目7番2号
東京サンケイビル内 大手町サンケイプラザ 4階ホール
- (3) その他
ア 取材の際は自社腕章を着用し、係員の指示に従ってください。
イ 駐車場はありませんので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

〔東京消防庁（代）電話 3212 - 2111〕
〔広報課報道係 内線 2345～2349〕

【消防活動功労】

中野消防署 消防司令補 中村 和夫（59歳）

昭和45年8月採用以来、33年以上にわたり常に消防活動の第一線で活躍し、現在は指揮担当として職務に精励している。これまでの災害出場件数は4,000件を超え、「消防戦技スペシャリスト」としての知識と技術を発揮している職員である。



【救急活動功労】

本田消防署 消防士長 関根 正芳（58歳）

昭和46年4月採用以来、36年以上にわたり救急活動一筋に活躍している。これまでの救急出場件数は28,500件を超え、平成11年からは救急救命士として、その知識と技術を遺憾なく発揮している職員である。



【予防業務功労】

神田消防署 消防司令補 渡邊 政好（59歳）

昭和45年4月採用以来、31年以上にわたり予防業務に専従し、災害を予防する側から都民の生命、身体、財産を守る専門家として第一線で活躍している。「予防スペシャリスト」「予防チューター」として、その知識、技術を遺憾なく発揮している職員である。



【機関運用功労】

金町消防署 消防士長 窪田 清（58歳）

昭和45年12月採用以来、35年以上にわたり、常に災害の第一線において、消防車両の安全運行と機械操作を司る機関員として活躍している。これまでの機関運用距離は41,900kmに及ぶ。現在は、はしご車機関員として、これまでに培ってきた知識、技術を遺憾なく発揮している職員である。



【広報業務功労】

尾久消防署 消防司令補 本山 秀光（55歳）

昭和49年4月採用以来、長年にわたり、当庁の各種事業・災害に関する記録写真を通じた広報はもとより、再現実験や火災予防に関する注意喚起等、都民への安心・安全の情報発信を行っているものである。数少ない「広報スペシャリスト」として、その知識、技術を遺憾なく発揮している職員である。

